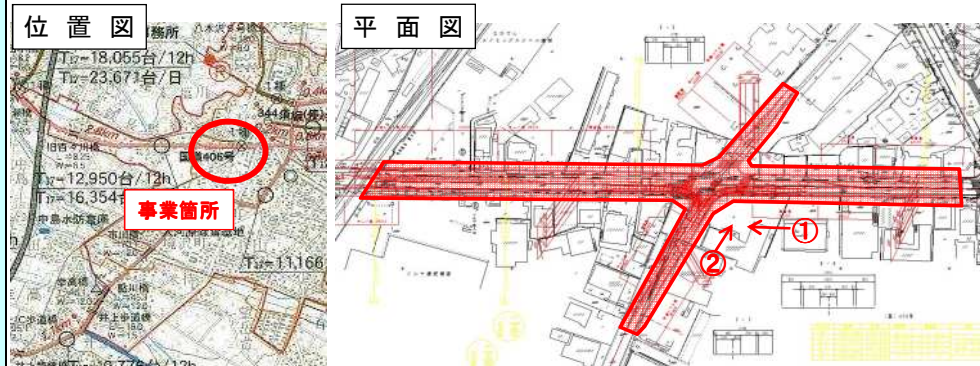


(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(国)406号	
事業毎の通番		4	市町村名	須坂市	箇所名(ふりがな)	南横町(みなみよこまち)
事業概要	事業目的	国道406号は、大町市を起点とし、長野市や須坂市を経由し、群馬県高崎市に至る主要な幹線道路であり、地域の生活や産業、観光を支える重要な路線であるが、長野市境～須坂市街地では朝晩の通勤時を中心に混雑が見られ、移動性阻害箇所(イライラ箇所)に指定されている。また、森上小学校、県立須坂創成高校(旧須坂園芸高校)が近隣にあるが、歩道が狭く、歩行者の通行に支障をきたしている状況にある。 当該箇所の整備により、混雑の緩和、歩行者の安全確保を図るため、早期に整備する必要がある。				
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法	
	関連する事業、計画等	須坂都市計画区域マスタープラン				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 : 15,700台/日				
	着手年度	平成28年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	3.4	国庫	その他 県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=200m、W=6.5(17.0)m			480,000	264,000 194,400 21,600
	年度事業内容(主な工種)	物件調査 一式、用地補償一式			50,000	27,500 20,250 2,250
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 17億円 緊急輸送路(2次)の整備			
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進			
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : 代替道路があるが安全性低い ○交通結節点アクセス : 須坂駅への1次アクセス道路 ○観光地アクセス : 観光地に通じる道路(臥竜公園) ○地域の活性化 : 長野市、須坂市街地から菅平高原(スポーツ関連施設集積拠点)へのアクセス			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : イライラ箇所(横町中央交差点)、須坂都市計画区域マスタープラン ○緊急輸送道路の路線指定 : 緊急輸送路(2次) ○地域指定 : 積雪地域			評価	B
	効率性	○費用便益比(B/C) : 3.4 ○事業期間 : 5年間 ○工法等の比較検討 : 地元関係者らが参加し、ルート比較検討を実施 ○他事業との連携 : 都市計画事業(臥竜線(H25～H28))			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H24:2件、H25:6件、H26 5件 ○渋滞及び騒音・振動の緩和 : イライラ箇所の解消(横町中央交差点) ○歩道整備:通学路指定あり(森上小学校) ○道路構造:現況幅員5.5m			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 3回の意見交換会・説明会を実施済(H22.8、H23.9、H24.9)(H25には地権者に個別に説明) ○地域の取り組み : 3回の意見交換会・説明会を実施済 沿線地権者からは、早期の事業化要望あり ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 維持管理や環境美化に地域住民が直接参加している(道路愛護会、塩川長生会、むつみ会)			評価	A
	部意見	事業の必要性、効率性及び緊急性が高いため、平成28年度から新規事業化したい。	行政改革課意見	地域の重要路線であるが、通勤時間帯を中心に混雑し、また歩道が狭く、歩行者の通行に支障をきたしていることから、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	採択 A

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)406号は、長野市から菅平を結ぶ主要幹線道路であり、本事業区間は須坂市の中心市街地に位置する。また、須坂市で行われている幹線道路網の見直しの検討にあたり、既存のバイパス(都市計画道路高甫線)計画の廃止など、将来交通需要を踏まえ、幹線道路として当該路線の重要性が高まっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、朝晩の通勤時を中心に混雑状況が見られ、イライラ箇所にも指定されている。当該箇所は、須坂市街地の玄関口になっており、車両交通が多く、錯綜している。森上小学校、県立須坂創成高校(旧須坂園芸高校)が近隣にあるが、歩道が狭く、歩行者が危険にさらされている状態となっている。
③事業説明等の経緯	本事業区間は、平成22年度から沿線住民への事業説明を実施しており、地権者からも事業化の要望が出されており、本事業区間の早期事業化が求められている。 ・須坂市要望 H26.7.17 ・一般国道406号整備促進期成同盟会 H26.11.20
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	イライラ箇所 須坂都市計画区域マスタープラン
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	ルートの比較検討に地元関係者が参加し、地域の意向を反映している。また、歩道の整備により森上小学校などの通学路の安全確保が図られる。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られるとともに、周辺道路の渋滞緩和、沿道の商業施設等の活性化も期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 39' 16" 東経:E 138° 18' 14"